



No.159

令和7年1月20日発行

路材協会報

路面標示材協会

東京都千代田区神田佐久間町3-27-1 (大洋ビル)

〒101-0025 Tel (03) 3861-3656

Fax (03) 3861-3605

目次

令和7年を迎えて.....	会長 稲葉 実.....	1
会員会社一覧		3
高付加価値塗料の評価について.....	技術委員会.....	4
事務局便り・余滴		16



令和7年を迎えて

会長 稲葉 実

あけましておめでとうございます。新たな年の初めを迎え、皆様には健やかに
お過ごしのことと、お慶び申し上げます。令和7年を迎え、当協会の活動につき
まして、会員並びに賛助会員の皆様、及び関係各位からの格別なご支援とご高配
を賜り、改めて厚く御礼を申し上げます。

昨年は新年早々に発生しました能登半島地震、羽田空港の航空機事故をはじめ、
台風による大規模災害の発生等、多くの災害に見舞われた年となりました。また、
8月には宮崎県日向灘を震源とする地震を受けて、初めて「南海トラフ地震臨時

情報（巨大地震注意）」が発令され、改めて災害に対する備えの重要性を認識させられる年になったと思います。

さて、備えという観点から申し上げますと「自動運転レベル4」の実用化に向けた取り組みは着々とその数を増やしており、区画線（道路標示）の重要性は高まっています。区画線が薄くなってしまいう前に適切な塗替えをし、備えておくことが非常に大切になってまいります。

当協会としては、官公庁、施工業者等からの要望を受け、高付加価値標示材（高耐久性等）の開発に取り組んでおり、現在、実路面における路面標示用塗料の耐久性評価試験を行っています。

また、今回の実路面での試験にあたり、事前に行なったテーブル試験（試験設備による実験）と、実路面での試験データの相関性について検証を行なっている最中になります。テーブル試験と実路面試験において相関が得られればテーブル試験の信憑性も高まります。道路管理者様をはじめ発注者様のご理解をいただけることが前提にはなりますが、各メーカーが開発した新製品をいち早く市場へ送り出すことが可能になるのではないかと考えております。

令和3年3月に内閣府から発表された「第11次交通安全基本計画」（令和3年度～令和7年度：5か年）は当協会の事業と深い関わりを持っており、今年はその最終年度を迎える年となっています。

「第11次交通安全基本計画」の目標である「世界一安全な道路交通の実現を目指し、24時間死者数を2,000人以下とする」ためには、スピード感を持った取り組みが不可欠であり、比較的lowコストで即効性の高い効果を得ることができる路面標示は、事故抑制という観点からみても非常に有効であると考えております。

当協会としては、世界一安全な道路交通の実現に向け、微力ではございますが一助を担えるよう取り組んでまいります。

最後になりますが、関係各位におかれましては、引き続き当協会活動へのご理解、ご協力を賜りますとともに、益々のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

（株式会社キクテック 事業本部交通安全事業担当部長）

路面標示材協会

会員会社

会社名	〒	住 所	電話／FAX
アトミクス(株)	174-8574	板橋区舟渡3-9-6	03-3969-1552 03-3968-7300
大崎工業(株)	593-8311	大阪府堺市西区上89番地	072-272-1453 072-274-1810
(株)キクテック	457-0836	名古屋市南区加福本通1-26	0569-48-1145 0569-48-6440
信号器材(株)	211-8675	川崎市中原区市ノ坪160	044-411-2191 044-422-1543
神東塗料(株)	135-0016	江東区東陽3-23-22 東陽プラザビル5階	03-5690-0541 03-5690-0553
積水樹脂(株)	105-7110	港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター 10階	03-6758-1058 03-6758-1084
(株)トウベ	592-8331	大阪府堺市西区築港新町1-5-11	072-243-6421 072-243-6407
日本ライナー(株)	135-0007	江東区新大橋1-8-11 大樹生命新大橋ビル7階	03-5638-7431 03-5638-7434
レーンマーク工業(株)	731-1142	広島市安佐北区安佐町 大字飯室字森城6864-18	082-835-2511 082-835-2513

賛助会員会社

会社名	〒	住 所	電話／FAX
日本ガラスビーズ協会	300-2662	茨城県つくば市下河原崎254-36 ポッターズ・パロティーニ株式会社 管理部内	029-847-7483 029-848-1056
日本ゼオン(株)	100-8246	千代田区丸の内1-6-2 新丸の内センタービルディング	03-3216-2342 03-3216-0504
東邦顔料工業(株)	174-0043	板橋区坂下3-36-5	03-3960-8681 03-3960-8684
大日精化工業(株)	103-8383	中央区日本橋馬喰町1-7-6	03-3662-7111 03-3669-3924
早川商事(株)	103-8350	中央区日本橋小舟町6-1	03-3662-6711 03-3662-1657

高付加価値塗料の評価について

路面標示材協会 技術委員会

1. 経緯

現在、路面標示用塗料は交通量により頻度は異なりますが定期的に塗り替えられています。路面標示用塗料に要望する機能について官公庁、施工業者等へアンケート調査した結果、高耐久性塗料の開発要望が多数ありました。また、近年、自動運転機能を搭載した自動車が販売され、その多くが車載カメラを使用し路面標示を認識し、車線逸脱を防止する機能を装備しています。

路面標示が明瞭に視認できる状況下では車線逸脱防止機能が適切に機能しますが、路面標示の劣化・摩耗によりかすれ、はがれ等の塗膜欠損が存在する場合は、誤検知が発生することが知られています。

当方はカメラ及びLiDAR等で路面標示を認識する車線逸脱防止機能が使用されると推測し、2.(1)、(2)、(3)、(4)に記載した路面標示用塗料の機能をより強化することで誤検知等の課題が解決できると考え、耐久性の向上を主眼においた高付加価値路面標示用塗料の評価を開始しました。

2. 路面標示用塗料に必要な機能と条件

路面標示用塗料に必要な機能と条件は下記になります。

- (1) 車の運転時に、昼夜とも、光及び色の反射により識別・視認が十分にできること。
- (2) 路面によく密着し、車や歩行者の通行によって短時間にはがれたり、摩耗が著しくないこと。
- (3) 経時によって、割れや汚れ、変色が著しくなく、視認性が急速に低下しないこと。
- (4) 車両、歩行者の通行に危険が伴わないこと。(スリップや段差によるつまずきの原因にならないこと)
- (5) 速乾性で塗装作業(以下、施工という)中に交通の支障が極めて少ないこと。
また、施工が容易で、安全なこと。
- (6) 施工費が経済的になるような、比較的安価な材料であること。

3. 各塗料の耐久性評価

上記を踏まえ、耐久性、昼夜間の視認性、すべりにくさを観察することでより付加価値が高い路面標示用塗料となると考え、表-1の配合を使用し、表-2の(1)～(4)の試験項目で評価を実施しました。各配合のコンセプトを下記に示します。

基準品：一般的に施工されているJIS品

試験品①：基準品に対し、硬質骨材の耐久性へ与える影響を確認する

試験品②：試験品①に対し、硬質骨材粒径の違いによる耐久性の差異を確認する

試験品③：基準品に対し、2液反応型樹脂の耐久性、耐候性の差異を確認する

表-1 試験配合

	規格	種類	ガラスビーズ配合量 (%)	硬質骨材配合量
基準品	JIS K 5665 3種1号 (以下、基準品)	熔融型	15.0~18.0	—
試験品①	—	熔融型	15.0	B粒30% (粒径0.5~1.0mm)
試験品②	—	熔融型	15.0	C粒30% (粒径0.15~0.5mm)
試験品③	—	2液反応型	15.0	—

表-2 試験方法

試験項目	試験方法	試験機		確認項目
		テーパー 摩耗試験機	研磨紙 (S-42) 摩耗輪 (CS-17)	
(1) 耐摩耗性	JIS K 5665 JIS K 5970			摩擦による摩耗減量
(2) チョーキング 摩耗性	NEXCO 試験法809	促進耐候性試験機 (キセノンウェザーメーター)		耐候劣化 (塗膜減量と色相変化)
(3) 促進摩耗性	NEXCO 試験法805	促進耐久性試験機 (タイヤの回転)		摩擦による摩耗 (反射輝度値とすべり抵抗値の変化)
(4) 促進摩耗性	独自試験	促進耐久性試験機 (タイヤの回転+珪砂散布)		強力な摩擦による摩耗 ①反射輝度値とすべり抵抗値の変化 ②塗膜状態

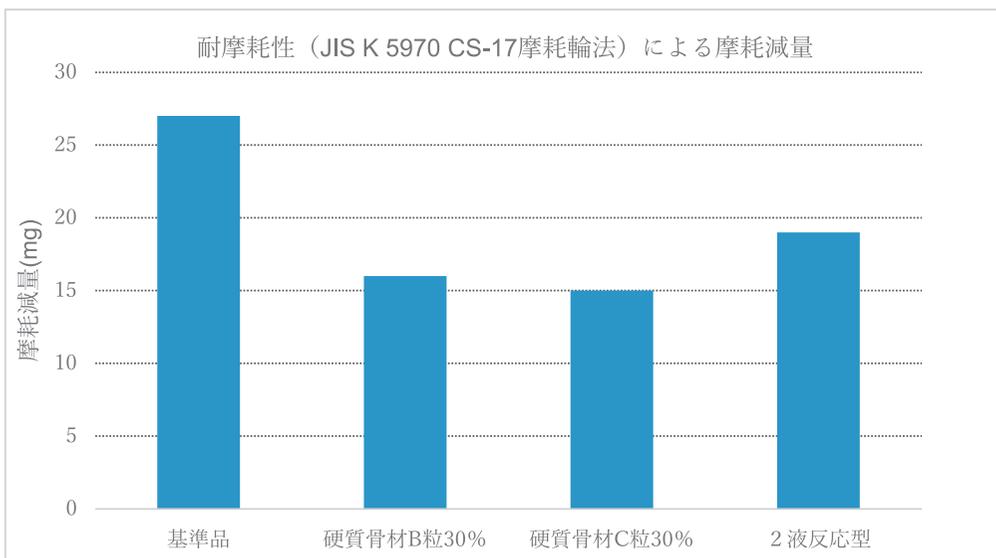
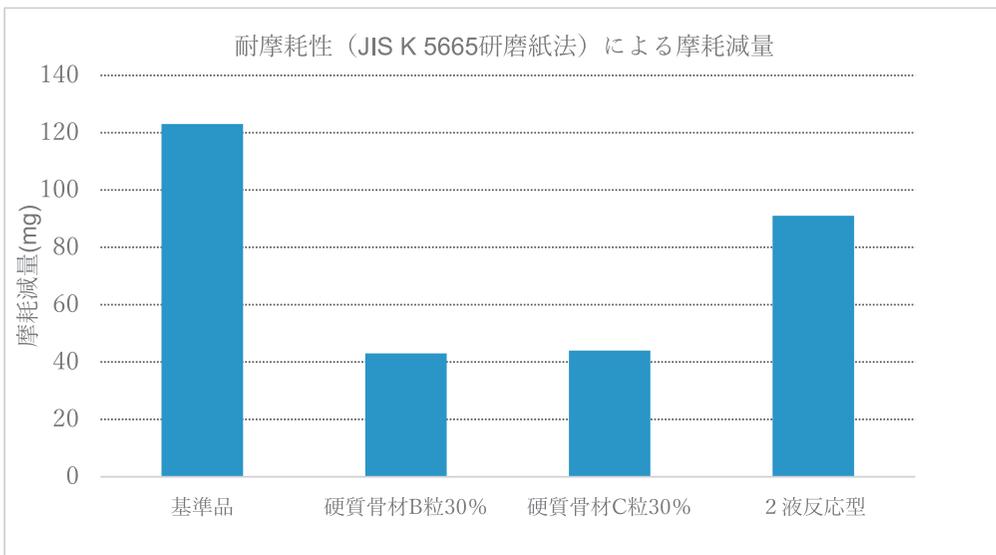
(1) 耐摩耗性 (JIS K 5665) (JIS K 5970)

摩耗輪の違いによる耐久性の差異を確認するために、研磨紙S-42と摩耗輪CS-17を使用し摩耗量を測定しました。試験機と研磨紙、摩耗輪の写真を下記に示します。

テーパー摩耗試験機	研磨紙S-42	摩耗輪CS-17
		

JIS K 5665 研磨紙法とJIS K 5970 CS17摩耗輪法での摩耗減量のグラフを下記に示します。

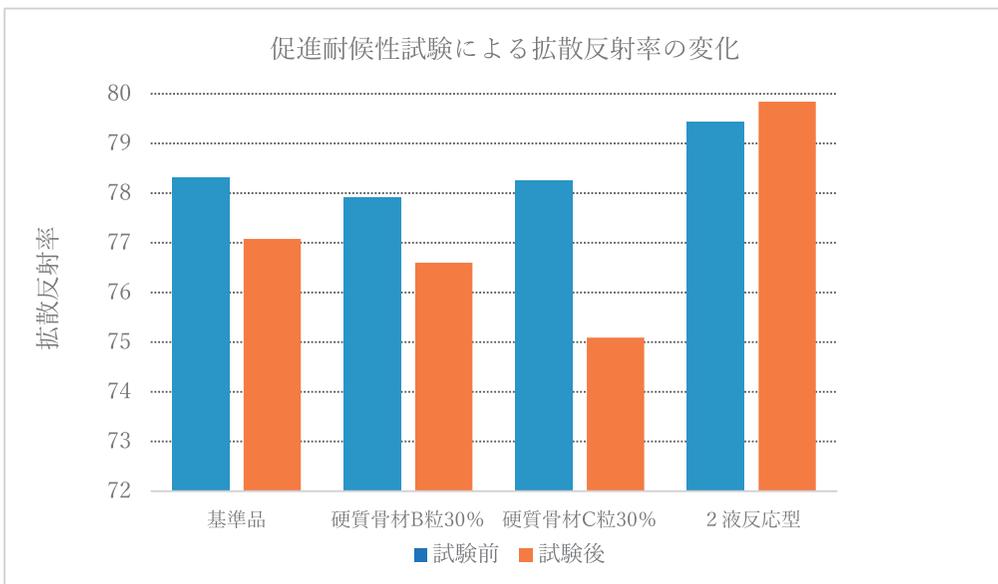
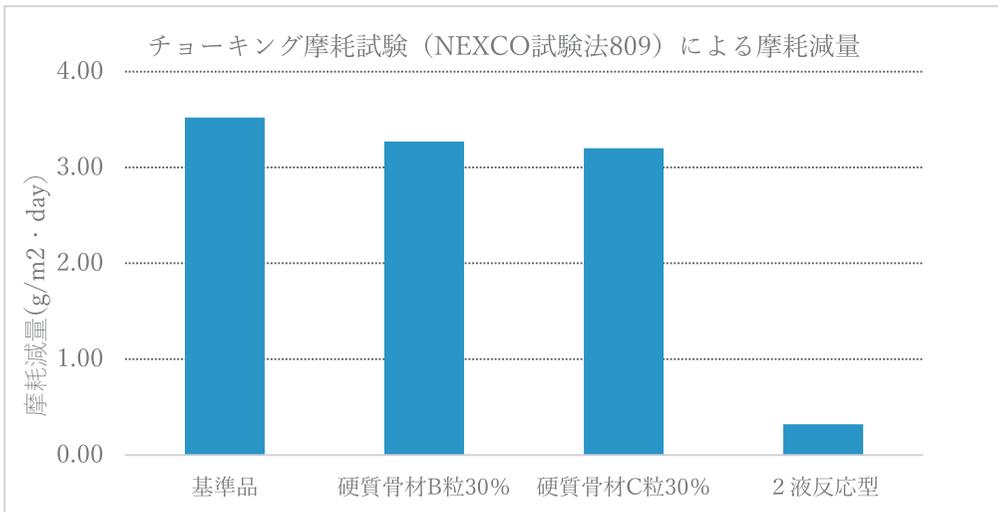
試験品は各試験法において、基準品より摩耗減量が少ない結果となり、摩耗減量は、各試験法ともに、基準品 > 2液反応型 > 硬質骨材B粒30% ≒ 硬質骨材C粒30%の順となりました。

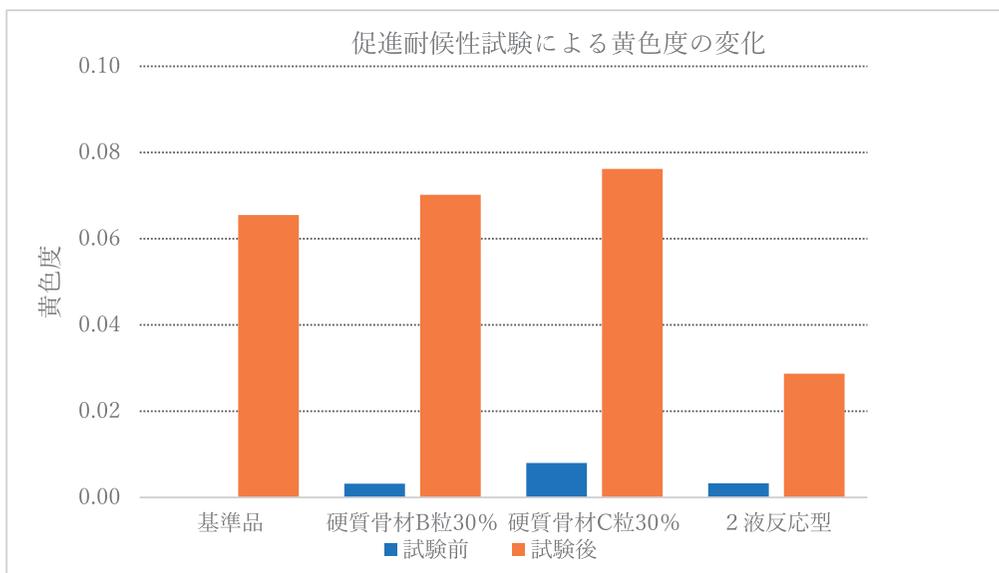


(2) チョーキング摩耗性 (NEXCO試験法809)

NEXCO試験法809によるチョーキング摩耗での塗膜減量及び、各塗膜の拡散反射率と黄色度のグラフを下記に示します。

チョーキング摩耗は、2液反応型は特に摩耗減量が少ない結果となり、拡散反射率と黄色度は、溶融型は基準品、試験品ともに初期値と比較して大きく低下しているのに対し、2液反応型は拡散反射率の低下が見られませんでした。



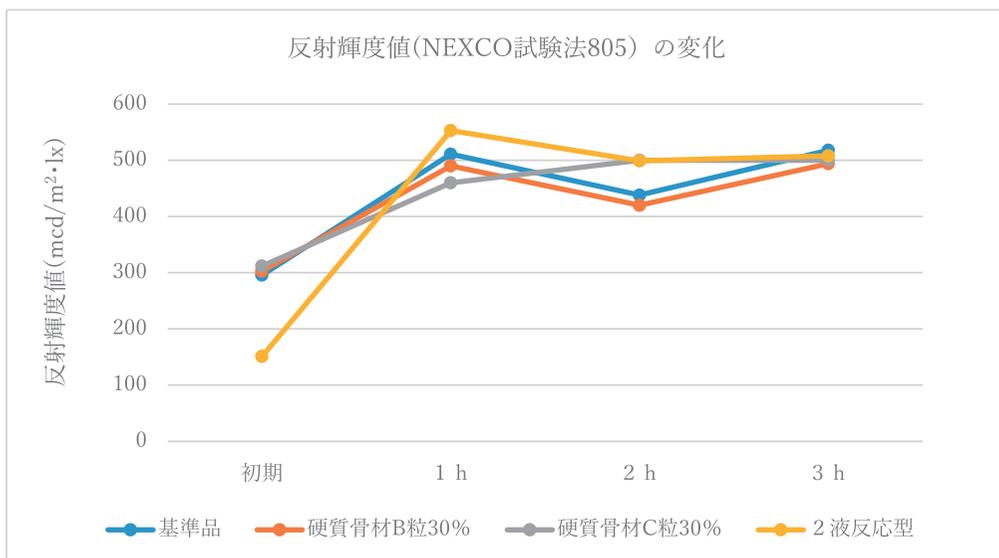


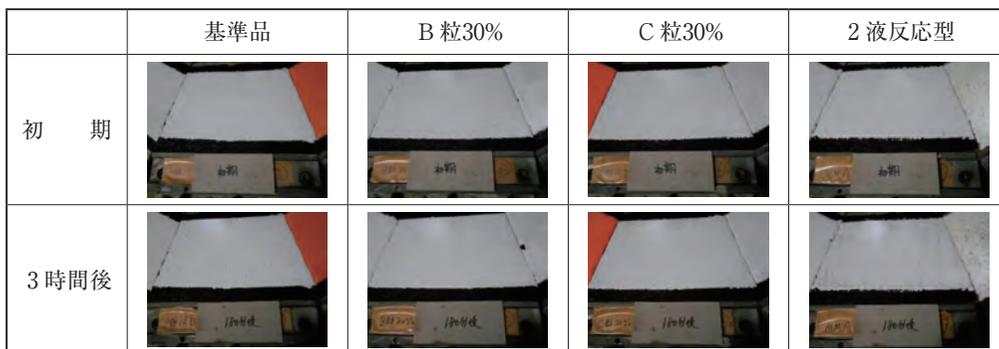
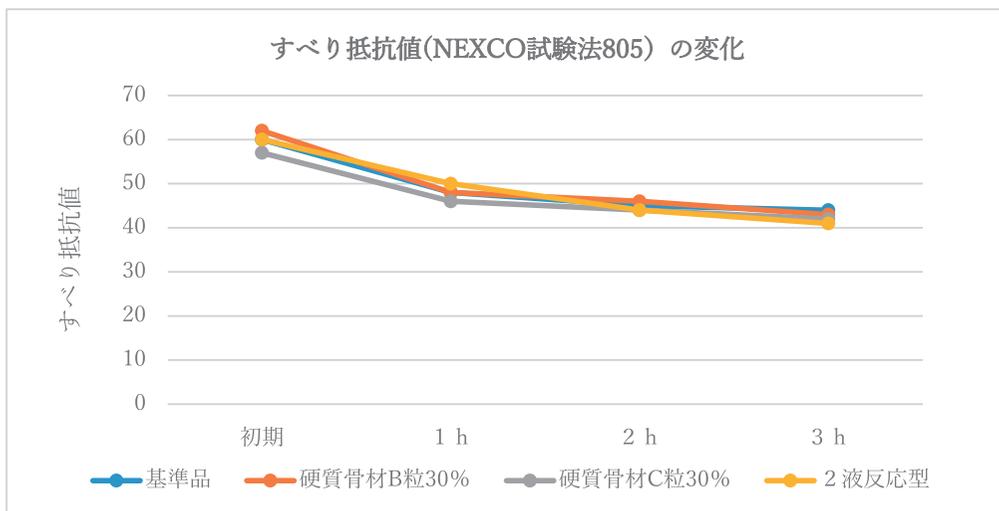
(3) 促進摩耗性 (NEXCO試験法805)

NEXCO試験法805に従い試験を実施し3時間経過後に反射輝度、すべり抵抗値を測定した結果を下記グラフに示します。(試験板は密粒度舗装13mmトップ)

反射輝度値はポッターズバロティニー製ミロラックス7、すべり抵抗値はポータブルスキッドレジスタンステスターを使用しました。

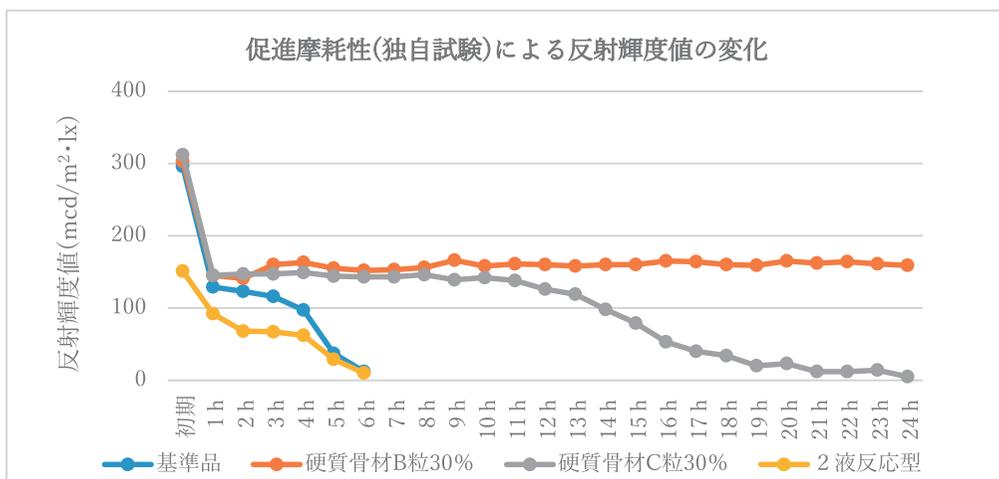
NEXCO試験法805による試験での反射輝度値とすべり抵抗値は基準品、試験品とも同等の値を示しています。

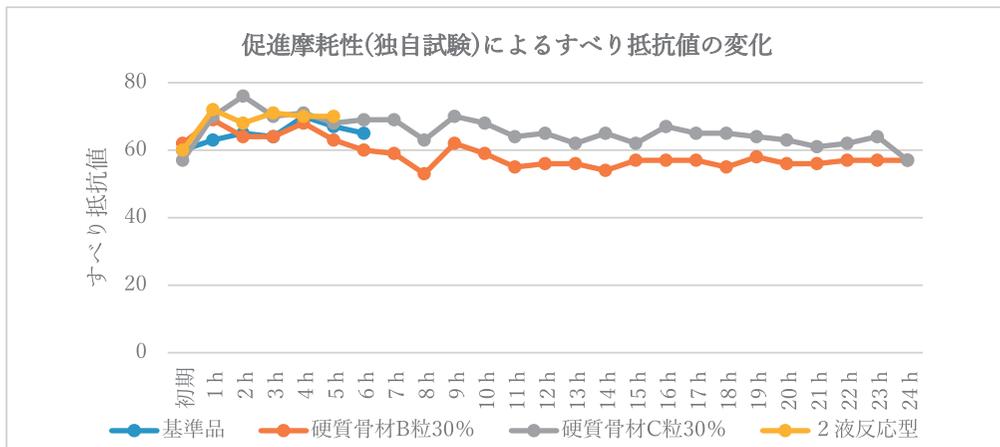




(4) 促進摩耗性 (独自試験)

(3) の試験後に珪砂を散布しながら試験継続した結果を下記グラフに示します。2液反応型は6時間程度で塗膜が完全に摩耗したのに対し、硬質骨材C粒30%品は24時間、硬質骨材B粒30%品は24時間経過後も塗膜が残存していました。





	基準品	B粒30%品	C粒30%品	2液反応型
6時間後				
12時間後				
18時間後				
24時間後				

4. 試験結果のまとめ

3. に示したように試験方法により各種塗膜の耐久性評価結果に大きな違いが見られ、硬質骨材の混入（B粒30%、C粒30%）→摩擦に対して、耐久性の向上、2液反応型樹脂の起用→耐候劣化に対して、耐久性の向上が見られました。結果を表-3に示します。

表-3 試験結果まとめ

試験項目	試験方法	確認項目	試験結果
(1) 耐摩耗性	JIS K 5665	摩擦による 摩耗	(劣) 基準品 > 2液反応型 > B粒30% ≒ C粒30% (優)
	JIS K 5970		
(2) チョーキング 摩耗性	NEXCO 試験法809	耐候劣化	(劣) 基準品 ≧ B粒30% ≧ C粒30% >> 2液反応型 (優)
(3) 促進摩耗性	NEXCO 試験法805	摩擦による 摩耗	大差なし
(4) 促進摩耗性	独自試験	強力な摩擦 による摩耗	(劣) 基準品 ≧ 2液反応型 >> C粒30% > B粒30% (優)

5. 実路面での試験施工

上記結果を踏まえ、実路面での評価を実施し、各試験方法との相関性を求めることとしました。

施工日：2023年12月19日～20日（19日基準品、20日試験品）

施工場所：国道17号線常盤7丁目交差点（埼玉県さいたま市浦和区常盤5丁目15）
県道213号線交差点（埼玉県さいたま市浦和区岸町4丁目20）

試験品目：基準品、試験品①（硬質骨材B粒30%品）、試験品②（硬質骨材C粒30%品）、
試験品③（2液反応型）

天 候：晴れ

気 温：5～14℃

各塗料は下記の仕様により施工し、散布ガラスビーズはJIS R 3301相当品を使用しました。

今後は経時で塗膜の外観、反射輝度値、すべり抵抗値を測定し、ラボデータとの違いを確認していく予定です。

	使用量 (g/m) (45cm幅)			施工方法
	プライマー	塗料	散布ガラスビーズ	
基準品	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品①	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品②	60	1350	75	45cm幅施工機
試験品③	—	1350	75	45cm幅アプリケーション

	<p>基準品施工</p>
	<p>試験品施工</p>
	<p>完成</p>

参考文献 路面標示材協会発行書籍：「路面標示材料」（平成30年度版）

路面標示材料（赤本）

JIS K 5665：2018「路面標示用塗料」改訂に伴う最新の規格・基準や、新施工法に合わせた第6版。

(内容)

第Ⅰ部 基礎編

路面標示用塗料の概要
路面標示用塗料の原料
路面標示用塗料の試験項目と試験方法
路面標示用塗料の施工
路面標示用塗料などの取扱いの注意事項
路面標示用塗料の塗膜欠陥と対策
高視認性標示
水系路面標示用塗料
路面標示塗料用ガラスビーズ
路面標示の反射輝度値
その他の路面標示用材料（貼付け式、埋設式、等）

第Ⅱ部 応用編

プライマーの効果
路面標示用塗料の黄色
路面標示の夜間視認性
すべり摩擦係数と路面のすべり
安全を守るための関係法視
路面標示用塗料のクラック
路面標示用塗料のピンホール、ふくれ現象
路面標示用塗料の汚れ
塗膜の変形（溶融型塗料）
路面標示用塗料（1種・2種）のにじみ
熱履歴による溶融型塗料の品質低下

B5版 約220頁（頒価3,000円）（送料共）

路面標示用語（改訂版）

1. はじめに

路面標示業界（標示工事業も含めて）でよく使われる「言葉」、即ち専門用語あるいは中間言葉、隠語符牒の類をできるだけ多く集めて解説を加えた、「用語解説書」。

2. 解説の基本方針

- ①解説の基本態度はできるだけ不偏であること。
- ②解説に当っては実現性と合理性を重視すること。
- ③表現は、平易と簡潔とすること。
- ④解説に複数の見解があるときは、委員会の合議にかけ調整すること。
- ⑤追加用語については、その説明の根拠を明確にすること。

B5版約60頁（頒価1,500円）（送料共）

申込みは **路面標示材協会事務局**
下記FAXにてお願いいたします。

東京都千代田区神田佐久間町3-27-1
大洋ビル (TEL.03-3861-3656)
(FAX.03-3861-3605)

申込日		令和	年	月	日
【住所】(〒 -)	【部】	材料			冊
【会社名】	【数】	用語集			冊
【部署名】	【TEL】				
【お名前】	【FAX】				
お支払い方法	請求書必要				

令和6年中の交通事故死者数について

(警察庁 令和7年1月7日公表より抜粋)

事務局

1 交通事故発生状況の推移 (昭和23年～令和6年 抜粋)

年	発生件数		負傷者数		死者数		人口10万人当たり	
	(件)	指数	(人)	指数	(人)	指数	死者数(人)	指数
昭和23年	21,341	...	17,609	...	3,848	23	4.93	30
30	93,981	...	76,501	...	6,379	38	7.22	44
35	449,917	...	289,156	29	12,055	72	12.97	79
40	567,286	...	425,666	43	12,484	74	12.85	79
45	718,080	100	981,096	100	16,765	100	16.33	100
50	472,938	66	622,467	63	10,792	64	9.81	60
55	476,677	66	598,719	61	8,760	52	7.54	46
60	552,788	77	681,346	69	9,261	55	7.70	47
平成元年	661,363	92	814,832	83	11,086	66	9.03	55
5	724,678	101	878,633	90	10,945	65	8.79	54
10	803,882	112	990,676	101	9,214	55	7.30	45
15	948,281	132	1,181,681	120	7,768	46	6.10	37
20	766,394	107	945,703	96	5,209	31	4.08	25
25	629,033	88	781,492	80	4,388	26	3.44	21
30	430,601	60	525,846	54	3,532	21	2.79	17
令和元年	381,237	53	461,775	47	3,215	19	2.54	16
2	309,178	43	369,476	38	2,839	17	2.25	14
3	305,196	43	362,131	37	2,636	16	2.09	13
4	300,839	42	356,601	36	2,610	16	2.08	13
5	307,930	43	365,595	37	2,678	16	2.14	13
6	290,792	40	343,756	35	2,663	16	2.14	13

- 注1 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」(各年10月1日現在人口(補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は、国勢調査人口による。ただし、昭和23年及び24年は補間補正人口))による。
 注2 交通事故件数及び負傷者数は、昭和34年以前は軽微な被害(8日未満の負傷、2万円以下の物的損害)事故を含まない。
 注3 交通事故件数は、昭和41年以降は物損事故を含まない。
 注4 交通事故件数、負傷者数、死者数及び人口は、昭和46年以前は沖縄県を含まない。
 注5 指数は、昭和45年を100とした値である。
 注6 令和6年の発生件数及び負傷者数は、12月末現在の速報値であり、今後変更される場合がある。

2 月別交通事故死者数の推移 (平成26年～令和6年)

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	上半期計	7月	8月	9月	10月	11月	12月	下半年計	年間合計
		平成26年(2014)	355	307	311	313	322	317	1,925	325	301	345	400	377	440	2,188
平成27年(2015)	346	308	317	320	314	287	1,892	333	340	339	391	379	443	2,225	4,117	
平成28年(2016)	349	261	321	309	323	264	1,827	294	328	309	376	350	420	2,077	3,904	
平成29年(2017)	282	288	303	244	282	276	1,675	314	310	299	343	372	381	2,019	3,694	
平成30年(2018)	318	245	282	270	253	235	1,603	280	296	279	338	326	410	1,929	3,532	
令和元年(2019)	265	210	261	266	210	206	1,418	229	278	293	313	328	356	1,797	3,215	
令和2年(2020)	262	247	239	213	194	202	1,357	191	197	243	273	280	298	1,482	2,839	
令和3年(2021)	198	207	210	198	183	202	1,198	230	193	207	273	251	284	1,438	2,636	
令和4年(2022)	183	176	203	191	214	191	1,158	207	230	222	261	252	280	1,452	2,610	
令和5年(2023)	217	170	226	184	208	176	1,181	236	240	215	252	254	300	1,497	2,678	
令和6年(2024)	220	185	177	196	206	198	1,182	227	246	221	252	248	287	1,481	2,663	
	増減数	3	15	-49	12	-2	22	1	-9	6	6	0	-6	-13	-16	-15
	増減率	1.4	8.8	-21.7	6.5	-1.0	12.5	0.1	-3.8	2.5	2.8	0.0	-2.4	-4.3	-1.1	-0.6
	1日当たり死者数	7.1	6.4	5.7	6.5	6.6	6.6	6.5	7.3	7.9	7.4	8.1	8.3	9.3	8.0	7.3

注 増減数(率)は、前年と比較した値(増減率は小数点以下第2位を四捨五入)である。

3 都道府県別交通事故死者数（令和4年～令和6年）

都道府県		死者数				人口10万人当たり死者数			
		令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	順位	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)	順位
北海道	北	115	131	104	8	2.22	2.55	2.04	37
	東	31	45	43	28	2.54	3.74	3.63	6
東北	青森	37	35	28	35	3.09	2.96	2.41	30
	岩手	37	47	47	25	1.62	2.06	2.08	34
	宮城	33	32	31	32	3.49	3.44	3.39	10
	秋田	26	34	24	40	2.46	3.27	2.34	31
関東	山形	47	55	51	22	2.59	3.07	2.89	20
	福島	132	136	146	1	0.94	0.97	1.04	47
関東	茨城	91	93	94	9	3.19	3.27	3.33	12
	栃木	50	59	60	14	2.60	3.09	3.16	15
	群馬	47	47	49	24	2.44	2.46	2.58	26
	埼玉	104	122	113	5	1.42	1.66	1.54	43
	千葉	124	127	131	3	1.98	2.03	2.09	33
	神奈川	113	115	109	6	1.22	1.25	1.18	46
	新潟	61	55	55	17	2.80	2.55	2.59	25
	山梨	25	29	28	35	3.11	3.62	3.52	8
中部	長野	46	42	57	16	2.26	2.08	2.84	21
	静岡	83	70	88	11	2.30	1.95	2.48	29
	富山	34	31	22	44	3.32	3.05	2.18	32
中部	石川	22	28	30	34	1.96	2.50	2.71	23
	福井	27	20	23	42	3.55	2.66	3.09	17
	岐阜	75	50	70	12	3.82	2.57	3.63	7
	愛知	137	145	141	2	1.82	1.93	1.89	40
近畿	三重	60	66	46	26	3.42	3.79	2.66	24
	滋賀	38	43	28	35	2.69	3.05	1.99	39
	京都	45	59	52	20	1.76	2.31	2.05	36
	大阪	141	148	127	4	1.60	1.69	1.45	44
	兵庫	120	103	109	6	2.21	1.91	2.03	38
近畿	奈良	29	26	23	42	2.21	1.99	1.77	42
	和歌山	24	31	34	30	2.63	3.43	3.81	4
	鳥取	14	14	15	46	2.55	2.57	2.79	22
中国	島根	16	22	9	47	2.41	3.34	1.38	45
	岡山	74	49	60	14	3.94	2.63	3.25	13
	広島	74	78	68	13	2.66	2.83	2.48	28
	山口	31	35	51	22	2.33	2.67	3.93	3
四国	徳島	23	28	33	31	3.23	3.98	4.75	1
	香川	35	33	31	32	3.72	3.53	3.35	11
	愛媛	44	43	52	20	3.33	3.29	4.03	2
	高知	26	23	21	45	3.80	3.40	3.15	16
九州	福岡	75	103	91	10	1.46	2.01	1.78	41
	佐賀	23	13	24	40	2.85	1.62	3.02	18
	長崎	28	36	26	39	2.16	2.81	2.05	35
	熊本	53	37	55	17	3.07	2.15	3.22	14
	大分	32	32	28	35	2.87	2.89	2.55	27
	宮崎	32	30	39	29	3.02	2.85	3.74	5
	鹿児島	42	40	53	19	2.66	2.56	3.42	9
全国	2,610	2,678	2,663	***	2.08	2.14	2.14	***	

注 算出に用いた人口は、各年の前年の人口であり、総務省統計資料「人口推計」（各年10月1日現在人口（補間補正を行っていないもの。国勢調査実施年は国勢調査人口による。））による。

事務局便り

1. 会員の異動

(1) 正会員

- 第50回定時総会において、株式会社キクテック 稲葉 実 氏が会長に選任されました。前任のアトミクス株式会社 宮里 勝之 氏は副会長に選任されました。
- 業務委員長には、株式会社キクテック 田村 智也 氏が選任されました。
- 技術委員長には、信号器材株式会社 黒沢 麻記子 氏が選任されました。
- 積水樹脂株式会社の協会理事は、臼井 貴紀 氏から上野 大志 氏に代わりました。
- 株式会社トウペの協会理事は、藤井 勝己 氏から吉住 和典 氏に代わりました。
- 日本ライナー株式会社の協会理事は、喜美候部 信吾 氏から日向野 雅彦 氏に代わりました。
- 株式会社トウペの技術委員は、多田羅 剛志 氏から稲葉 孝史 氏に代わりました。

(2) 賛助会員

- 日本ゼオン株式会社の窓口担当は、廣岡 威好 氏から渡辺 敏行 氏に代わりました。

(3) 事務局

- 専務理事 松田 時雄 氏は退職し、宮坂 拓司 氏が事務局長として新任しました。

2. 委員会活動

(1) 業務委員会

- 令和5年度の都道府県別 路面標示用塗料の出荷量調査・分析を行いました。
- 「高付加価値標示用塗料」試験品の試験施工と経時調査の報告を関係団体に行いました。

(2) 技術委員会

- 「高付加価値標示用塗料」試験品の試験施工の経時調査を行いました。実路面と試験データの相関性についての検証が目的です
- 路材協会報No.159号に「高付加価値塗料の評価について」を掲載しました。
- 「JIS K5665路面標示用塗料 改正JIS原案作成委員会」に参画し、原案作成を行いました。2025年度の改正を目指しています。

余滴

路面標示材協会の事務所は、東京都千代田区神田佐久間町というところにあります。最寄り駅はJRの秋葉原駅です。秋葉原駅が、人が行き交う駅となったのは今から100年前のことだそうです。1925年（大正14年）11月1日に上野・東京間の高架線が開通し、JR山手線が現在のようなかたちの環状運転を開始したそうです。それにあわせて、それまで貨物の専用駅だった秋葉原駅が、旅客も扱う一般駅となり、今では国内最大の電気街をもつ、アイドル・B級グルメの発信地となっています。

それに対して、3G回線（いわゆるガラケー）はどうでしょうか。21世紀の初め、2001年にサービスが開始されましたが、auとソフトバンクはすでにサービス終了。NTTドコモも2026年3月31日にサービス終了を予定しているそうです。

100年前から人が行き交う秋葉原駅、25年で使われなくなってしまうガラケー。継続と終了にはそれぞれに理由があるのでしょうか。私たちの仕事は、路面標示材を通じて、交通安全に貢献することです。もしかすると100年後には路面標示材は無くなっているかもしれません。しかし、今、交通事故で亡くなったり、けがをされた方がいる限り、少しでも減らすことができるように路面標示材協会はこれからも努力してまいります。

路面標示材協会

TEL：03-3861-3656

FAX：03-3861-3605

<https://www.rozaikyo.com> E-mail：info@rozaikyo.com